

自己研鑽を重ねる中で大きな成果が実感できる
研究職は面白い！

研究職の業務内容

産業労働部



山梨県

Yamanashi prefectural industrial technology center

研究職の仕事について

職 種

研究職には、機械、金属、電気、電子、化学、材料、物理、繊維、デザインなどの職種があります。

業務内容

県内中小企業の支援業務に携わります。それぞれの専門分野で、技術支援、研究開発、人材育成、情報提供、事業化支援等の業務を行います。



研究職の仕事について

配属先

産業労働部の出先機関である産業技術センターに配属されます。
(産業技術センターは、甲府市、甲州市、富士吉田市に設置しています。)



1

管理・連携推進センター
甲府技術支援センター
甲府市大津町2094



2

ワイン技術部
甲州市勝沼町勝沼2517



3

富士技術支援センター
富士吉田市下吉田6-16-2

産業技術センターについて

組織図

産業技術センターは、3つのセンターから構成されています。



産業技術センターの仕事

支援メニュー

県内企業の生産活動における技術的課題の解決から、将来に向けた技術開発まで、山梨県の産業のさらなる発展に向けて、次の5本の柱で企業支援に取り組んでいます。

【1】
技術
支援

【2】
研究
開発

【3】
人材
育成

【4】
情報
提供

【5】
事業化
支援



産業技術センターの仕事

【1】技術支援

技術支援では、企業から寄せられる様々な技術的課題に対して、センターが保有している機器を活用した試験や分析などを行い、解決につなげていきます。

- 企業現場での技術支援
- 技術相談・依頼試験・設備使用への対応
- 成長産業への参入促進
- 中小企業の海外展開の支援
- 他県の公設試との連携
- 地域産業のブランド化への支援
- 技術研究会の開催支援



R1技術支援実績

巡回技術支援	1,397件
技術相談	5,170件
依頼試験	5,863件
設備使用	28,765件



産業技術センターの仕事

【2】研究開発

県内企業のニーズに対応した研究や、成長分野進出の足掛かりとなるような研究、未来の山梨の創造につながる研究などに取り組んでいます。

- 産学官連携研究の実施
- オープンイノベーション※の推進
- 競争的資金の積極的な獲得と活用支援
- 知的財産権取得と有効活用促進
- 受託研究の実施
- 燃料電池セル評価プロジェクトの実施
(NEDOからの受託：R2～R6年度)
- 研究成果の普及啓発

※ 既存の組織の枠組みを超え、広く知識や技術を集結してイノベーションを起こすこと



産業技術センターの仕事

【2】 - 1 職種別の研究開発例

電子

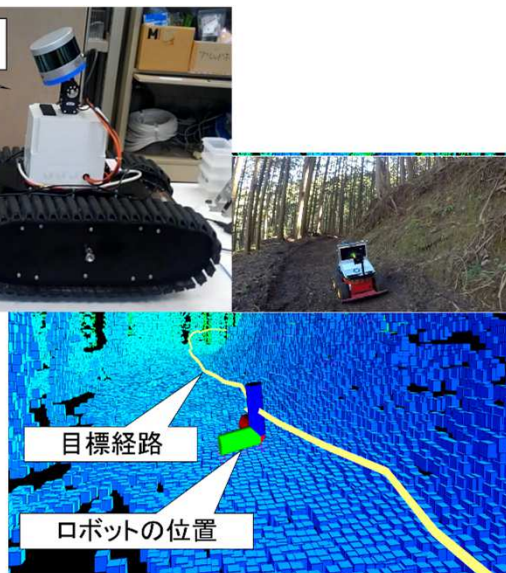
自律走行ロボット技術の開発支援

多様な分野で活躍できる自立走行ロボット技術の開発支援を行っています。段差を乗り越えるなど高い走破性を持ち、自らの現在位置の推定ができるなど自立走行が可能となるため、人が入れない災害現場などで活躍できます。

自律移動モジュール

制御対象
(移動ロボット)

医療・介護・
農業など、さ
まざまな分野
での活用が
期待



デザイン

県産ニホンジカ皮の有効活用

山梨県における獣害対策で捕獲されたニホンジカの有効利用を図るため、ニホンジカ皮を無染色・無塗装で高白色になめす技術を開発しました。この鹿革を用いた印伝製品の販売に向けて準備を進めています。（特許出願・商標登録）

財布やバッ
グ、ノートPC
用スリーブ、メ
モ帳ケース等
に展開



産業技術センターの仕事

【2】 - 2 職種別の研究開発例

機 械

高圧水素溶接一体構造部品製造技術の開発

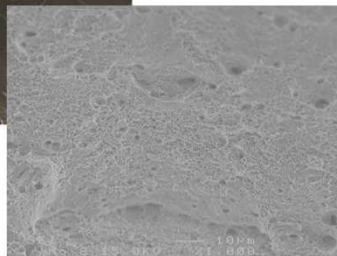
県内企業と共同で、高圧水素配管用自動溶接装置を開発し、溶接構造を採用した部品のサブモジュールを試作しました。これにより、信頼性を低下させることなく水素ステーションの設置費用を低減可能とし、水素社会を実現するためのインフラ整備の加速が期待されます。



試作したサブモジュール

実用化を目指して県内企業の開発を支援

接合部の破断面



化 学

SOFC用耐熱めっきの開発

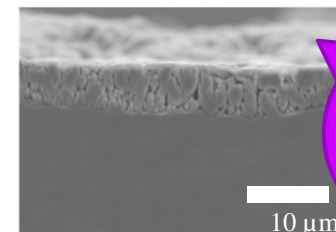
県内企業と共同で、高温で運転する固体酸化物形燃料電池の部品に適用する処理技術を開発しました。めっきによりMn（マンガン）- Co（コバルト）合金皮膜を作製し、皮膜を熱処理することで低コストで高耐熱性・高導電性を示す複合酸化物皮膜が得られます。



Mnめっき



Mn-Co合金めっき



Mn-Co合金めっき断面観察

県内企業と実用化に向けた試験を実施中

産業技術センターの仕事

【3】人材育成

企業ニーズや業界の技術動向に即したテーマで、技術講習会、研修会、講演会等を実施し、企業の技術者の技術力・研究開発力向上に努めています。

- 講習会／研修会の開催
- 出前技術講座の実施
- 設備利用研修会の開催
- ものづくり人材育成研修の開催
- やまなしモノづくりデザイン塾
の開催
- 技術者研修の実施
- インターンシップ研修の実施



産業技術センターの仕事

【4】 情報提供

研究開発等で得られた成果は、成果発表会や報告書などにより、県内の中小企業に情報提供します。

○ 研究成果の発表

産業技術センター研究成果発表会、やまなし産学官連携研究交流事業

○ 山梨テクノICTメッセ等の展示会への出展

○ 刊行物の発行

研究報告書、研究成果速報、年報、センターニュース、デザイン情報誌

○ センター利用の手引き

- ・ メールマガジンの発行

○ プロポーザルページによるセンター業務紹介



産業技術センターの仕事

【5】事業化支援

研究成果を技術移転することにより、県内企業の技術革新や新たな事業展開へと発展させていきます。また、付加価値の高い製品づくりを支援するオープンイノベーションの推進にも取り組んでいます。

- 研究成果の技術移転の促進
 - (1) フォローアップ事業の実施
 - (2) 企業ニーズ対応試作開発事業の実施
- 「産学官金連携」の推進
- 地域産業の個別課題を地域内で解決する取り組み「ものづくりプラットフォーム」の構築

例 高精細な表現が可能な織物製品（特許取得）



晴雨兼用傘「こもれび」



縄文シルクスカーフ

※山梨大学との連携により、風景写真などの画像を織物で再現する手法を研究。織物上での滑らかなグラデーションの表現を可能としました。

県内企業が
この技術を用いた商品
を製造販売
しています

産業技術センターの仕事

研究員の一日

企業からの技術相談や設備使用への対応、また研究に関わる打ち合わせ、実験、報告書の作成等、様々な業務を行います。

例 電子・システム技術部 職員の日

時間	項目	内容
8時 30分	朝会	連絡事項, 予定確認
8時 45分	事務作業	メール確認, 書類作成
9時 30分	来客, 設備利用	技術相談対応, 電波暗室の機器取扱説明
12時 00分	昼食	
13時 00分	出張	共同研究先での自動走行ロボットの実験
16時 00分	研究資料作成	実験結果のまとめ, 研究報告書の作成
17時 15分	退庁	



<電子・システム技術部の業務>

- 電子応用科
電子技術、光応用技術、電磁環境等に関する支援及び試験研究
- システム開発科
IoT/AI、ロボット、信頼性、電子技術、情報技術に関する支援及び試験研究

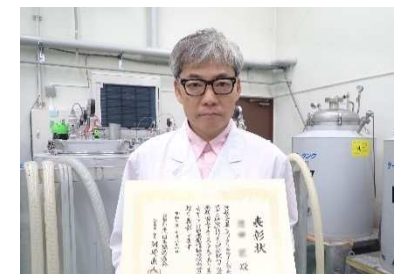
研究職のやりがい

成果と喜びが実感できる仕事

技術相談や研究開発等で取り組んだ仕事は、実際に企業の生産現場で役立った時には、大変やりがいを感じることができます。

また、業務を進めるうえでは、職員間のチームワークがとても重要であり、目標に向けてそれぞれが常に自己研鑽を行い、切磋琢磨することで、目標を達成したときの喜びをともに分かち合うことができます。

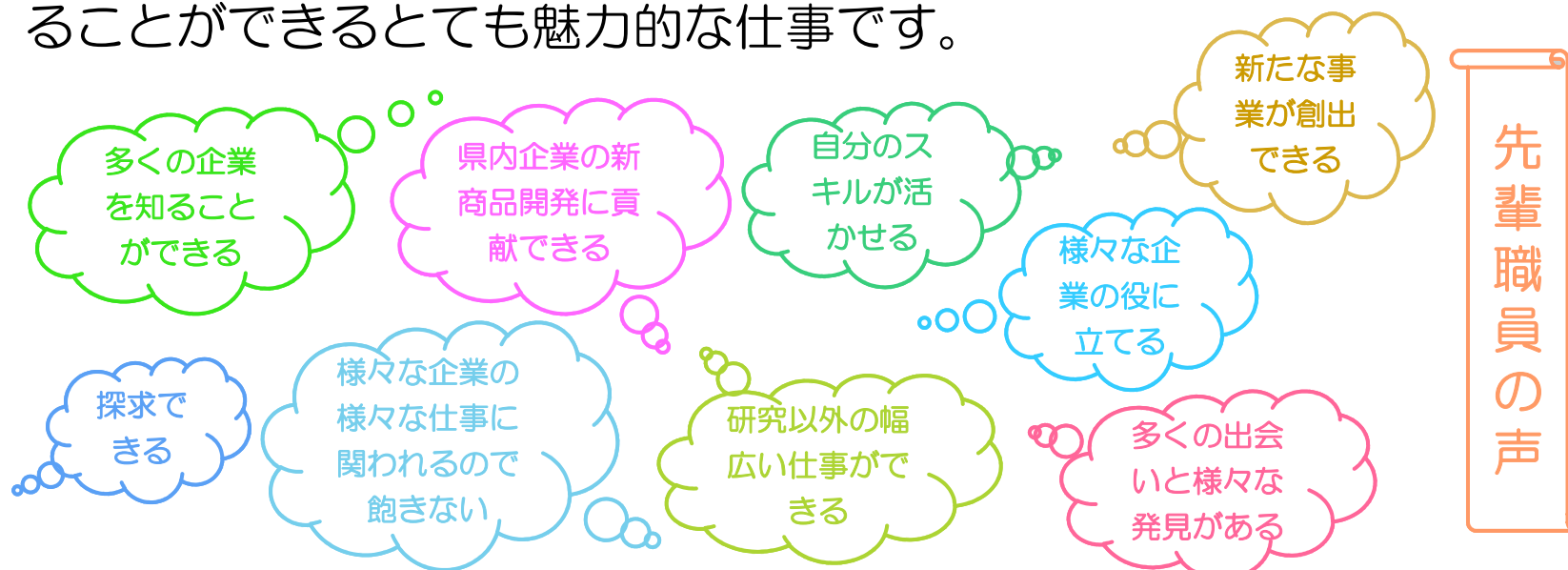
多くの職員が、
学会賞を受賞し
たり、博士の学
位や技術士の資
格を取得してい
ます！



研究職を志す人へ

魅力的な仕事です

県内中小企業が直面している技術的課題等について、今まで習得した自分の専門分野の知識や技術を活かし、自ら解決方法を考え、行動します。また、自己研鑽を重ねる中で、より大きな成果を実感することができるとても魅力的な仕事です。



是非一緒に働きましょう！